事　業　報　告

令和５年度（2023年度）

【令和５年４月１日から令和６年３月31日まで】

社会福祉法人あけぼの事業福祉会

法 人 概 要

【法人の沿革】

1977年 4月	『社会福祉法人あけぼの事業福祉会』創設　理事長　安家茂美
	「豊中あけぼの保育園」長興寺南に開園（S52.3.31認可）園長　安家茂美
1987年 4月	「あけぼのベビーセンター」上野西に開園（S62.3.26認可）園長　安家周子
1988年12月	『社会福祉法人あけぼの事業福祉会』　理事長　安家周子就任
2000年 6月	豊中あけぼの保育園分園「あけぼのぶんぶん」曽根東町に開園　園長　安家周子
2001年 4月	「あけぼのぶんぶん」小規模保育園へ認可変更（H13.3.30認可）
2002年 4月	「あけぼのドロップス」上新田に開園（H14.3.29認可）園長　安家尚子
2005年 3月	『社会福祉法人あけぼの事業福祉会』　理事長　安家周一就任
2005年 4月	「あけぼのぽんぽこ保育園」西緑丘に開園（H17.3.31認可）園長　安家比呂志
2012年 3月	「豊中あけぼの保育園」城山町に移転
2015年 2月	「あけぼのぶんぶん」長興寺南に移転
2018年4月	「あけぼのベビーセンター」を「あけぼの風の森保育園」へ名称変更
2019年4月	「豊中あけぼの保育園」を幼保連携型認定こども園「豊中あけぼのこども園」へ認可変更
	「あけぼのドロップス」を幼保連携型認定こども園「認定こども園あけぼのドロップス」へ認可変更
	「あけぼのぽんぽこ保育園」を幼保連携型認定こども園「あけぼのぽんぽここども園」へ認可変更

【保育の方針】

保育理念：保育する上での根本的な考え

「今しかできないこと　今だからできること
しっかり看つめること　ギュッとハグすること
自分の興味を満喫させて遊ぶこと　思いっきりカラダを動かすこと
大人みんなで精一杯愛すること　大人も育つこと
私たちはこんな保育園を目指します」

保育目標：保育の具体的な目標

「すべての生活から健全な心身を育てる
すべての生活からよく考える力を育てる
すべての生活から愛情と自立心を育てる」

モットー：こどものあるべき姿　　「よくみる　よくきく　よくする」

スタッフポリシー：保育者としての原則

①こどもの安全が最優先されているか
②日々の生活が大切にされプログラムがこども側の論理に立っているか
③保護者に対して共感的態度で接しているか
④自分が人間として自立しているか
⑤自分が保育者として向上心があるか
⑥日々適切に報告、連絡、相談（ホウ、レン、ソウ）ができているか
⑦「もったいない」を大切にしよう
⑧自分を大切にし、周りの人を大切にする　（No２の役割とティームワーク）

【役員・評議員の状況】

理事６名・監事２名　任期：令和５年６月27日～令和６年度最終のものに関する定時評議員会の終結するとき

	役職	氏名	職業等
1	理事	安家　周一	学校法人あけぼの学園　理事長
2	理事	安家　力	あけぼのほりえこども園　園長
3	理事	片山　雄基	社会福祉法人種の会　理事長
4	理事	中橋　美穂	大阪教育大学　教授
5	理事	三倉　敏浩	豊中あけぼのこども園　園長
6	理事	水谷　豊三	学校法人成城学園　理事長
1	監事	上保　小太郎	元法人事務長
2	監事	河端　秀雄	元豊中市職員

評議員７名　任期：令和３年６月29日～令和６年度最終のものに関する定時評議員会の終結するとき

	役職	氏名	職業等
1	評議員	安達　譲	学校法人ひじり学園　理事長
2	評議員	北島　孝通	庄内こどもの杜幼稚園　施設長
3	評議員	辰巳　正信	学校法人たつみ学園　理事長
4	評議員	得　喜成	社会福祉法人愛成会　理事長
5	評議員	秦　賢志	学校法人小寺学園　理事長
6	評議員	濱名　浩	学校法人あけぼの学院　理事長
7	評議員	村野　光子	アトリオみなみおかこども園　園長

【理事会・評議員会の開催状況】

開催年月日	理事	監事	評議員	決議事項
2023年6月12日 理事会	4	2		○施設長人事について ○令和４年度事業報告及び決算報告について ○評議員候補者の選任について ○評議員選任・解任委員会開催日について ○評議員会の開催日程及び議題(決算報告、法人役員の選任、社会福祉充実計画)について ○その他について
2023年6月27日 評議員会	2		5	○令和４年度決算報告について ○法人役員の選任について ○その他について
2023年6月27日 理事会	5	2		○理事長及び副理事長の選任について ○その他について
2024年3月19日 理事会	5	2		○令和５年度補正予算について ○令和６年度事業計画及び当初予算について ○各種規程(就業規則、給与規程)の改定について ○評議員会の開催日程及び議題(補正予算、事業計画及び当初予算、役員報酬規程の改定)について ○その他について
2024年3月27日 評議員会	3		7	○令和５年度補正予算について ○令和６年度事業計画及び当初予算について ○役員報酬規程の改定について ○その他について

【社会福祉法人あけぼの事業福祉会　全体の概要】　　**理事長**：安家 周一

当法人は、子どもの健やかな成長と保護者自身の子育てによる育ちを保証する運営に注力した「子どもたちの命と育ちが護られ、保護者が子育ての喜びを感じ、職員が仕事に誇りを持てること」を使命として 2023 年度事業に取り組むことができた。

各施設とも、おおむね定員を充足し、健全な運営が実行できたものの、施設によって新年度当初の 0 歳児の不足は健全化し、今後の課題である。ぽんぽここども園は移管後 18 年を過ぎた園地の貸借期間の満了を目前に、市との交渉を重ね、当法人希望 30 年に向けた契約に続き、公正証書を公証人役場への提出の段階に至った。

新型コロナウイルスの流行は一段落したが、春先からアデノウィルスや他の流行性の病が流行し園児をはじめ保護者、教職員も罹患するなど、健康の維持が難しかった。

職員の出産後の育児休業の取得が増え、勢い育児休暇後の職員の働き方が時間短縮となったり、看護休暇の取得などで、スタッフの数は整っているものの勤務時間が短かったり日常の人員が不足したりするなど、日常的な運営が難しい状況が見られた。園長や主任も保育に入るなど苦労が続いている。

様々な園内研修や打ち合わせ、今年度は幼児が在籍する３園幹部のミーティングなどに取り組んだ。縦割り異年齢保育の意義や保育の在り方など保育アドヴァイザーの安家尚子の指導の下、新たなる気づきが生まれるなど、一歩前進が見られた。

〇各施設共通の具体的な取り組み

Ⅰ〕安全な食事の提供を行うための様々な工夫

ここ数年、安全な食材の仕入れや共通メニューによって、食の面が大きく前進した。主食費・副食費の金額も 7500 円／月に設定し、野菜に加えて、調味料や乾物などにも配慮し始めることができている。

Ⅱ〕評価の検討

評価については、従前より当該施設長・主任によって評価を行い、期末賞与に反映させてきていたが、園長会などの議論によって、その評価によって賞与が影響を受けることを取りやめることとなった。評価については、次年度の処遇改善などで調整する。

Ⅲ〕働き方改革

各園働き方改革リーダーを選出し、定期的に話し合いや現状報告を行った。各園とも改善が進み、超過して勤務することが極力ないよう努力している。

Ⅳ〕人材の確保

次年度から採用試験を学校法人と分けて行うことが決定し、各施設園長や主任は、良質な実習生などにもアルバイトに誘うなど、採用につながるような努力を行っていた。

Ⅴ〕事務員の資質向上

ここ数年、事務長多田元太が事務員の資質向上の取り組みを実施し、日常業務に加え、全体の金銭マネージメントや、予算の立て方、執行の精度などが向上しつつある。

以上

各 施 設 報 告

【豊中あけぼのこども園】　園長：三倉 敏浩

所在地 ： 〒561-0803　豊中市城山町１丁目２番25号
連絡先 ： TEL/06-6863-7050　FAX/06-6863-1260　E-mail/toyonaka_akebono@akebono.ed.jp

園児数：

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
1歳児	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
2歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
3歳児	21	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
4歳児	15	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
5歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
合計	71	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	900

職員数：

職種	4/1				3/31			
	正職員	契約職員（常勤換算）	派遣職員（常勤換算）	合計（常勤換算計）	正職員	契約職員（常勤換算）	派遣職員（常勤換算）	合計（常勤換算計）
園長	1			1	1			1
主幹保育教諭	1			1	1			1
保育教諭	11	5 (3.6)		16 (14.6)	10	6 (4.0)		16 (14.0)
保育補助		4 (1.2)		4 (1.2)		4 (1.2)		4 (1.2)
栄養士/調理員	2	2 (0.2)		4 (2.2)	2	2 (0.2)		4 (0.2)
看護師	1			1	1			1
事務員		1 (0.8)		1 (0.8)		1 (0.8)		1 (0.8)
その他		2 (0.3)		2 (0.3)		0		0
計	16	15 (6.1)		31 (22.1)	15	13 (6.2)		28 (19.2)

職員の勤続年数：

1年未満		4年以上5年未満	3	8年以上9年未満	2	12年以上13年未満		20年以上	1
1年以上2年未満	2	5年以上6年未満	1	9年以上10年未満	1	13年以上14年未満		常勤職員の平均	
2年以上3年未満	3	6年以上7年未満		10年以上11年未満	2	14年以上15年未満			
3年以上4年未満		7年以上8年未満	2	11年以上12年未満		15年以上20年未満	2	8年	

研修の受講状況：

○第14回幼児教育実践学会（２名）　○第66回全国保育研究大会（１名）
○ちゃいるどネット研修　（２名）　○キャリアアップ研修　（12名）

本年度重点的に取り組んだ目標・計画と報告・継続課題：

目標・計画	具体的な取組方法
①乳児を取り巻く 物的・人的環境の充実 （乳児）	【計画】 ・乳児の定員数が減る事に合わせて、乳児クラス保育室の玩具や遊具等を（連携施設：あけぼのぶんぶんを参考にしながら）再編成し、より充実した環境作りを進めていく。（各乳児クラス環境整備用の予算を保育材料費に別途計上）又、乳児フリーを活用し、乳児クラス担任が自分のクラスを客観的に観察・分析する『クラス内保育観察』を定期的（主にミーティング前）に実施していく。
	【報告】 ・乳児クラスの環境整備費として玩具等を購入していける予算を付けた事で、各クラスの担任が系列園や他園を参考にしながら主体的に環境整備に向かう事が出来た。また、乳児フリーを活用する事により業務の軽減へは繋がったが、客観的に自クラスを分析する取り組みまでは進められなかったので、次年度へと申し送っていきたい。
②2 号認定児特化園への 人材育成の STEP （幼児）	【計画】 ・今年度より、あけぼのぶんぶんとの連携施設化がスタートし、縦割りクラスが１クラス増設、本格的に 2 号認定児に特化した施設へと舵を切った。前 2 歳児担任（あけぼのぶんぶんからの転勤者含む）といった『幼児クラス担任未経験者』と『幼児クラス担任経験者』をペアに組んで 2 人担任とする事により、幼児の育ちの連続性や保育の特性を理解した人材を“安定的に”育成していく。
	【報告】 ・新年度は幼児クラスが１クラス増えた事による混乱が多く見られたが、幼児クラス経験者と２歳児からの持ち上がりの担任を２人で組ませたことにより、各クラスの保育や子どもの安定度が軌道に乗るのは早かった。安定的なクラス運営を通して、幼児クラスの担任を担える人材を多く育成する事が出来た。
③ミーティング改革 ～質と時間～	【計画】 ・各クラスの打ち合わせは、課題や取り組みを可視化（マッピングやポストイットを使用）し、話し合い形式からワーク形式のミーティングへと変化。（質） ・全てのミーティングの時間を 45 分以内に設定。（時間） その分、生まれた昼の時間を利用し、今までなかなか実施出来なかったミニ職員会議を定期的に実施。（質）
	【報告】 ・ミーティング時間を 45 分～60 分へ短縮する事により１日に 2 つのミーティングを実施し、他の職員会議を定期的に実施する時間を生み出せるようになる等、効率性を改善する事が出来た。 ・ミーティングの内容もホワイトボードを駆使して可視化しながら、記録も画像で残して共有する等、質を向上することに繋がった。
④働き易さと モチベーションの 『並存』	・PC を各クラス１台⇒ひとり１台（個人で管理）に変更し、『NO 残業・NO 持ち帰り』の継続に向け事務仕事の効率を UP。 ※夕方以降は PC の電源が自動でシャットダウンされるように設定 ・乳児フリーの貼り付け・幼児クラス 2 人担任化によってノンコン

	タクトタイムを確実に確保。事務作業時間だけでなく“職員間で保育を語り合う時間”も勤務時間内に設定しモチベーションをUP。
	【報告】 ・昨年度に引き続き「ひとり1台のPC環境の整備」「ノンコンタクトタイムの確立」により、NO残業NO持ち帰りの取り組みは完全に定着した。また（上記ミーティングの改革にもあるように）会議の質、話し合いの質と量の確保が進み、職員間のモチベーションアップも活発に進んできている。

地域貢献活動：

活動名	活動場所	活動内容
園庭開放 『ひなたぼっこ園庭』	豊中あけぼのこども園園庭	毎週月曜日に園庭を開放し、地域の子どもとその保護者が安心して遊べる場を提供した
子育て支援イベント 『ひなたぼっこ』	あけぼのぶんぶん3Fホール	毎週火曜日にあけぼのぶんぶんと共催で、地域の子育て世帯に向けた親子遊びの紹介、遊び場の提供、交流の促進、育児相談等を行った。(第2週のみ木曜日に豊島公園にて「ひなたぼっこ広場」を実施した)

苦情解決状況：

項目	件数	主な状況
事故	5	○蜂に刺される　○目隠しをしていて額を打って皮下血腫 ○手尾足車を押したまま転倒し左手親指を裂傷　○玩具に躓き目尻を裂傷 ○（家庭から持ってきた）水筒に入っていた洗剤を誤飲
苦情･意見	4	○子ども同士のトラブル：2件　○産休中の登園時間について ○園庭の砂が側溝へ流れ出た事について（近隣より）
検証	○受診を検討するような事例については、必ず保護者に連絡報告をすることや事故原因を看護師・チーフを中心に検証し、全体会議にて周知する。 ○子ども同士のトラブルについては発達上の姿である事も伝えていきつつ、各家庭の間に園が入って問題解決へと進めていく。 ○産休中の対応等、市や法人で決められている事は園長を中心に保護者へ説明する事を徹底すると共に、職員も把握出来るように周知徹底を行う。	

その他特記事項・報告事項

・本年度に取り組む施設･設備整備に挙げていた「園庭側溝設置工事」は施行終了。
・予備費の残額によって実施判断予定だった「園庭デッキテラス設置工事」は、予算の確保が難しいと判断した為、次年度以降に先送りとなる。

【あけぼの風の森保育園】　　**園長**：武田　愛子

所在地　：　〒560-0011　豊中市上野西４丁目５番62号
連絡先　：　TEL/06-6857-2003　FAX/06-6857-2086　E-mail/akebono_kazenomori@akebono.ed.jp

園児数：

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
1歳児	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	24	24	298
2歳児	26	26	25	26	26	26	26	26	26	26	26	26	25	310
合計	60	60	59	60	60	60	60	60	60	60	60	59	58	716

職員数：

職種	4/1				3/31			
	正職員	契約職員（常勤換算）	派遣職員（常勤換算）	合計（常勤換算）	正職員	契約職員（常勤換算）	派遣職員（常勤換算）	合計（常勤換算）
園長	1			1	1			1
主任	1			1	1			1
保育教諭	13	7 (4.2)		20 (17.2)	11	6 (3.2)	2 (1.7)	19 (15.9)
保育補助		2 (1)		2 (1)		3 (1.2)		3 (1.2)
栄養士/調理士	2	1 (0.1)		3 (2.1)	2	1 (0.1)		3 (2.1)
看護師		1 (0.9)		1 (0.9)			1 (0.9)	1 (0.9)
事務員		1 (0.75)		1 (0.75)		1 (0.75)		1 (0.75)
その他		3 (0.2)		3 (0.2)		3 (0.2)		3 (0.2)
計	17	15 (7.2)		32 (24.2)	15	14 (5.5)	3 (2.6)	32 (23.1)

職員の勤続年数：常勤と正職

1年未満	3	5年以上6年未満	2	10年以上11年未満	0	15年以上20年未満	1
1年以上2年未満	1	6年以上7年未満	2	11年以上12年未満	0	20年以上	0
2年以上3年未満	4	7年以上8年未満	1	12年以上13年未満	0	常勤職員の平均	
3年以上4年未満	0	8年以上9年未満	0	13年以上14年未満	3		
4年以上5年未満	0	9年以上10年未満	1	14年以上15年未満	0	6.7年	

研修の受講状況：

○ちゃいるどネット研修（１０名）　　○キャリアアップ研修（８名） ○保育実践学会（１名）

本年度重点的に取り組んだ目標・計画と振返り・継続課題：

目標・計画	具体的な取組方法
人材育成	【計画】 ・今年度は、産休育休明けで復帰してくる職員、転勤してくる職員、新採用で入社する職員が１/3 の割合を占める為、職員同士の関係性のマネジメントやコミュニケーションを意識した運営を行うようにしたい。その為に、クラス毎の伝達事項が中心になっている週に１度のミニ職会の際に、職員同士がゆっくり話せる時間を確保したり、課題となっている事が出てきた際にはみんなで解決に向かったりし、話し合いの場を設け時間を上手く活用していく。 ・メンターメンティー制度の活用は、前年度同様引き続き大切な時間として時間を確保しつつ、メンター以外の職員も含めみんなで転勤してくる職員、新人の職員を気にかけていくようにする。 ・年に３回の内、１ 回連携施設のあけぼのぽんぽここども園と園内研修やトレード研修を企画し共に学びを深めつつも交流が持てるようにする。
	【報告】 ・働き方改革に伴い、月に１度のミニ職会ではゆっくり話す時間の確保ではなく短時間で情報共有が出来るような工夫を行いクラス毎の時間を優先的に取れるようにした。転勤者や復帰してきた職員の状況を全員が理解し、働きやすい環境を作ることでみんなが助け合い良いチームワークで仕事が出来た。 ・あけぼのぽんぽここども園とは、数回交流や合同研修を行うことが出来たが、継続しての取り組みには出来なかった為来年度は計画的に交流を持ちたい。
子育て支援・地域支援	【計画】 ・昨年度、毎週行っている園庭開放では近隣の方がたくさん来園され好評を頂くことが出来た。特に、月に１度の制作を企画した園庭開放やクリスマス会などのイベントの際には参加員数が多く、自園の温かな雰囲気や丁寧な保育の様子を見て今年度入園される方も多くおられた為、引き続き楽しいイベントを企画して近隣の方にとって身近な保育園となるように意識して運営していく。 ・昨年より月に１度始めた出前野菜販売「マルシェ＠KAZE」では、あけぼのの契約農家の協力を得て低農薬、無農薬の野菜や納豆、お米の販売を行っている。園庭開放も合わせて企画したことで、在園児の親子だけではなく、近隣に住む方がたくさん来園し喜んで頂けるとともに交流の場としても貴重な時間となっている。今年度も引き続き行いながら、季節に合わせてちょっとしたイベントを企画するなど盛り上げていく。 ・ＢＰプログラムを年に２回は企画、運営できるようにする。
	【報告】 ・計画通り、園庭開放ではアプリや友だち同士の勧誘もあり毎月沢山の地域の方が利用されていた。毎月行っているイベントも喜ん

	で頂き、自園のアピールにもなっている。 ・野菜販売は、毎月定期的に行っていることもあり近隣にお住まいの常連さんも出来て喜んで頂けているが、天気や気温によっては来客が減る為、更に知って頂ける工夫を行っていきたい。 ・BP プログラムは自園では人数がそろわずに開催が出来なかったが、豊中あけぼのこども園看護師と一緒に２月に行うことが出来た。
働き方の改善	【計画】 ・60 名定員の内 32 名が新入園児となる為、園全体が落ち着くまで時間が掛かるがグループごとにフォローの職員を配置し、職員の休憩時間の確保や、出勤時間内に仕事を終えられる工夫を徹底していく。また、クラス毎にパソコンとタブレットを設置し、午睡の時間を有効にして効率よく仕事が出来る環境を作る。 ・個別指導計画、月週案などの書類面作成に時間が掛かる意見が多く出ている為、昨年度見直しを行い自園の指標を作成したため活用しながら、更に保育現場の声を拾って改善に努める。
	【報告】 ・落ち着くまでは、休憩を回すことも難しく毎日職員間で連絡を取り合いながら協力し、勤務内に仕事を終えるように書類の見直しを行いながら工夫して１年を過ごすことが出来、後半には定時で退勤出来るようにまでなった。各クラスにパソコンとタブレットを置くこと、契約職員のフォローが必須な状態ではあるが、来年度の NO 残業、持ち帰り無しを、念頭に置いての行動は出来ていた。
丁寧な保育 異年齢保育交流	【計画】 ・普段の保育現場で当たり前にしていることが保育者目線の行動になっていたり、子どもたちへの関わりに余裕が持てていなかったりする場面がある。法人の保育アドバイザーの安家尚子先生が、ビデオ撮影して下さった物を活用し、自分たちの保育を客観的に見たり、他クラスの様子を知ったりするいい機会となり、あけぼのので大切にしている育児担当制の意味や丁寧な保育への振り返りをする中で学びに繋がるケースが多かった。今年度も引き続き、子どもの“生活しつつ・学びつつ”を意識し、職員も成長出来る機会を作り、乳児施設ならではの温かい保育を目指す。 ・公開保育の実施において、他園からの様々な意見を聞きさらに改善を目指す。 ・０～２歳児の交流の他に、あけぼのぽんぽここども園の２歳児や幼児クラスとの交流を企画し様々な刺激を受けられるようにする。昨年度は幼児クラスが自園に遊びに来た際に、ダイナミックに遊ぶ様子に興味関心を持ち、真似をしようとする姿や優しい関わりに嬉しそうにする子どもたちが多かった。今年度もそういった関わりの中で子どもたちの関係性が作られるよう企画していく。
	【報告】 ・当たり前の丁寧な保育の見直しをこまめに行い、職員全員が共通意識を持ち保育することが出来た。また、トレード研修や公開保育など、第三者からの目線でご意見を頂く機会が多かった為、その都度職員間で振り返りと行うことが出来た。

地域貢献活動：

活動名	活動場所	活動内容
園庭開放	あけぼの風の森保育園　園庭	第１・３・４・５火曜日・第３土曜日　１０：００～１１：００ 園庭を開放し、地域の子どもとその保護者が安心して遊べる場を提供した。第４火曜日には、季節に合わせた製作やお祭りなどの特別なイベントを企画することで沢山の方が来園された。
公園保育	上野西４丁目第２公園	第２火曜日に近隣の公園で、遊具や大型絵本を用意し、近隣に住む子どもと保護者に遊びの提供を行い、友だちとして繋がるきっかけ作りとして運営を行った。
ﾏﾙｼｪ@KAZE	あけぼの風の森保育園　駐輪場（ホール）	第３土曜日９：３０～１１：００ あけぼのが契約している山里農園の野菜や納豆などの販売をすることで、普段食べている無農薬、低農薬の野菜をご家庭でも食べて頂ける機会となり在園保護者や地域の方に喜んで頂けている。
BP１ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ	曽根東センター	第１子の赤ちゃんとお母さんが週４回連続で参加するプログラムとなっており、初めての子育ての大変さを共感したり情報交換したりする中で子育ての楽しさを共有しママ友としての繋がりの場所提供を行っている。

苦情解決状況：

項目	件数	主な状況
事故	7	○腰が据わっていない園児が前に転倒 ○鉄棒にくくってブランコにしていた縄が転倒した時に首に引っかかる ○室内用木製滑り台のはしごから転落し後頭部を打つ ○絵本の取り合いの中で目に絵本があたる ○アレルギー児の誤食（職員による配膳ミス） ○噛みつきによる出血
苦情・意見	2	○腰が据わっていない園児が前に転倒した際の保育者の対応について ○噛みつきの対応について
検証		○ヒヤリハットの検証、振り返りを行い職員全体の問題として受け止め全員で周知を行う。 ○トラブルについては子どもの発達についての知識を保護者の方にお伝えし、保育者側の丁寧な説明や対応について再度抑える。

その他特記事項・報告事項：

・今年度に取り組む設備整備として挙げていた４つ（エアコン清掃、テラス拡大工事、テラスのワックス掛け、２歳児クラス壁紙貼り替え）に関しては、春にほどんどの物を終了し計画的に行うことが出来た。
・令和６年度より、一時保育の再開に向けて用品、備品の購入を行った。

【あけぼのぶんぶん】　　園長：山中　由貴子

所在地　：　〒561-0874　豊中市長興寺南２丁目８番16号
連絡先　：　TEL/06-6867-0711　FAX/06-6867-0712　E-mail/akebono_bunbun@akebono.ed.jp

園児数：

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
1歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
2歳児	18	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	45	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	504

職員数：

職種	4/1				3/31			
	正職員	契約職員（常勤換算）	派遣職員（常勤換算）	合計（常勤換算計）	正職員	契約職員（常勤換算）	派遣職員（常勤換算）	合計（常勤換算計）
園長	1			1	1			1
主任	1			1	1			1
保育士	12	6 (4.3)		18 (16.3)	10	7 (5.3)		17 (15.3)
保育補助		2 (0.7)		2 (0.7)		1 (0.4)		1 (0.4)
栄養士/調理員	2	1 (0.3)		3 (2.3)	1	2 (0.8)		3 (1.8)
看護師	1			1	1			1
事務員	1			1	1			1
その他		2 (0.3)		2 (0.3)		2 (0.3)		2 (0.3)
計	18	11 (5.6)		29 (23.6)	15	12 (6.8)		27 (21.8)

職員の勤続年数：

1年未満	3	4年以上5年未満	2	8年以上9年未満	3	12年以上13年未満		20年以上	1
1年以上2年未満	1	5年以上6年未満	1	9年以上10年未満		13年以上14年未満		常勤職員の平均	
2年以上3年未満	1	6年以上7年未満		10年以上11年未満		14年以上15年未満			
3年以上4年未満	3	7年以上8年未満	1	11年以上12年未満	1	15年以上20年未満	2	7年	

研修の受講状況：

○第14回幼児教育実践学会（2名）　○ちゃいるどネット研修（3名）
○キャリアアップ研修（9名）

本年度重点的に取り組んだ目標・計画と報告・継続課題：

目標・計画	具体的な取組方法
①同僚性の構築と向上	【計画】 ・正職員 15 名の内、6 名が転勤者と新任での職員構成となる。まずは、職員間で関係性を築き、同僚性を構築していけるように、職員会議や園内研修等で、アイスブレイクを取り入れながらお互いを知ることが出来る時間、保育を語り合える時間を設けていく。 ・メンターメンティー制度を活用して、新任２人がそこを基に園の職員と信頼関係、同僚性を築いていけるようにしていく。
	【報告】 ・新年度体制が始まっていた 3/31 に急遽人事変更があり、職員の動揺が隠せず全員が不安を抱えた状態でのスタートとなったが、各クラスで話し合う時間を多く作り、４月に園内研修を行うことで少しずつ関係性を築いていくことが出来た。転勤者がいることをプラスに捉え、打ち合わせや会議、園内研修で違いを共有し、園の取り組みを考える機会となった。自分達のクラスの現状や悩み、フォローが欲しいところ等を出し合うことで他クラスのことを知り、お互いに気にかけてフォローし合う事が出来た。
②グループ保育の構築	【計画】 ・昨年度から始めた０歳児・１歳児のグループ保育の振り返りから出た改善点を取り組む。学年（クラス）に捉われず、子どもの姿から日々の保育内容を考え、行事もグループで行ったりと子どもの発達に合った保育を構築する。グループ保育の良さを伝えていき、保育者・保護者の学年割りの意識を変えていく。
	【報告】 ・昨年度の振り返りから保育内容・体制を見直し、３月まで子ども達にあった保育をグループで行うことが出来た。行事もグループで行うことで、保護者のグループ保育への理解も深まった。子どもの月齢・発達は毎年違う為、毎年柔軟に考えながらグループ保育を構築していく。
③２施設間連携での保育の質の向上と学びの向上	【計画】 ・保育見学を定期的に行い、２歳児クラスの打ち合わせは毎月合同で行う。幼児がいる園での２歳児の姿を観察し、比較から保育環境（物的・人的）の質を向上させていく。２歳児だけでなく、０・１歳児も合同で遊んだり、打ち合わせを設けて質の向上へ繋げる。
	【報告】 ・毎月の合同打ち合わせの実施には課題が残った。行事を合同で行うことで、保育を見たり話し合う機会が増え、向上することが出来た。又、園内研修を合同で行うことで、保育について深めることが出来た。０・１歳児の交流も深め、乳児保育の質を向上させていく。
④働き方改革	【計画】 ・各自が持っている仕事内容を可視化することで、お互いのことを把握し、事務処理を効率よく取れるようにし、勤務時間内にリーダーの仕事も含めて終えられるようにしていく。 ・書類のプルダウン化を進めて、効率化を図る。 ・正職員だけで行うのではなく、契約職員にも意図を説明し、理解を得て協力体制を構築していく。
	【報告】 ・仕事内容と急ぎでしたいことを可視化することで、作り出せた事務処

	理時間を効率よく取ることが出来た。又、個人の能力に差があり、必要な時間が違う為、チーフが同じクラスの職員をマネジメントすることで、個々の意識が高まっていった。時間内勤務が定着するようにしていく。 ・書類のプルダウン化を進められたので、効率化出来た時間を保育の質の向上に繋げていけるようにする。

地域貢献活動：

活動名	活動場所	活動内容
子育て支援イベント『ぶんぶんルーム』	あけぼのぶんぶん 3F ホール	地域の第１子の０歳の母親に向けた３回コースの子育て支援。子育ての基礎知識の学び合い、遊びの紹介、離乳食の紹介、情報交換、育児相談をおこなった。
子育て支援イベント『ひなたぼっこ』	あけぼのぶんぶん 3F ホール	豊中あけぼのこども園と共催で、地域の０・１歳児に向けた親子遊びの紹介、遊び場の提供、交流の促進、育児相談等をおこなった。（月３日）
子育て支援イベント『ひなたぼっこ広場』	豊島公園	月１回豊中あけぼのこども園と共催で、地域の１歳～３歳未満児を対象に遊びの紹介、提供、制作、交流の促進等を行った。

苦情解決状況：

項目	件数	主な状況
事故	3	○他児が押す押し車に乗っていて前に倒れ前歯が動揺 ○午後食の子どもに誤っておやつを提供 ○テラスで車を走らせている時に前に倒れ前歯が動揺
苦情･意見	2	○保育者の子どもへの言葉掛けについて ○トイレマットに滑り止めが付いておらず子どもが滑って転倒した
検証	○提供ミスは、職員の思い込みから起こった。必ず献立表の確認と厨房で入れている容器に表記していく。 ○子どもの人権・不適切保育について会議で話し合いを行い、常に意識していけるように職員同士で声を掛け合っていく。 ○危険が予測されることには、すぐに対応をするようにする。	

その他特記事項・報告事項

･外壁塗装のメンテナンス工事､建具戸車レールの修繕工事､園庭外階段手摺の新設工事を行った。 ･0歳対象の地域支援を強化することで､参加者が０歳児の入園と繋がった。

【認定こども園 あけぼのドロップス】　　園長：多田　悦子

所在地 ： 〒560-0085　豊中市上新田４丁 18 目番３号
連絡先 ： TEL/06-6155-1101　FAX/06-6155-1102　E-mail/akebono_drops@akebono.ed.jp

園児数：

	定員	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
０歳児	6	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	71
１歳児	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
２歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
３歳児	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
４歳児	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
５歳児	13	12	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	155
合計	67	65	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	802

職員数：

職種	4/1				3/31			
	正職員	契約職員（常勤換算）	派遣職員（常勤換算）	合計（常勤換算計）	正職員	契約職員（常勤換算）	派遣職員（常勤換算）	合計（常勤換算計）
園長	1			1	1			1
園長代行	1			1				
主幹保育教諭	1			1	1			1
保育教諭	12	9 (5.2)		21 (17.2)	12	8 (4.7)		20 (16.7)
保育補助		3 (0.9)		3 (0.9)		3 (0.9)		3 (0.9)
栄養士/調理員	2	1 (0.3)		3 (2.3)	2	1 (0.3)		3 (2.3)
看護師		1 (0.75)		1 (0.75)			1 (0.8)	1 (0.8)
事務員	1			1	1			1
その他		3 (0.3)		3 (0.3)		2 (0.2)		2 (0.2)
計	18	17 (7.5)		35 (25.5)	17	14 (6.1)	1 (0.8)	32 (23.9)

職員の勤続年数：

１年未満		４年以上５年未満	4	８年以上９年未満		12年以上13年未満	1	20年以上	2
１年以上２年未満	2	５年以上６年未満	2	９年以上10年未満	2	13年以上14年未満		常勤職員の平均	
２年以上３年未満	1	６年以上７年未満	2	10年以上11年未満	1	14年以上15年未満			
３年以上４年未満	1	７年以上８年未満	1	11年以上12年未満	1	15年以上20年未満		10年	

研修の受講状況：

〇第 14 回幼児教育実践学会（２名）〇ちゃいるどネット研修（４名）
〇キャリアアップ研修（12 名）

本年度重点的に取り組んだ目標・計画と報告・継続課題

目標・計画	具体的な取組方法
保育観の共有と充実	【計画】 ・新任２名、転勤者２名と大きく変化する新体制を鑑み、理念の共有と個々の保育観の共有を行うことで連携強化を図る。 ・週一回の職員会議を行うことで、情報共有だけでなく園全体の動きを把握することで協調性を高める。 ・幼児クラスにおいては、担当間の業務内容だけでなく責務も偏りがないよう新体制を確立する。初めて幼児を経験する担当が多いこともあり、基本に立ち返り理念を学び会いながら安定した保育を目指す。
	【報告】 ・年度当初は、なかなか職員同士で保育観のすりあわせを行う事は難しかったが、日々のコミュニケーションや話し合いを重ねていく事で、職員間の連携がスムーズになった。 ・週１回会議を行う事で、リスクマネジメントや保護者対応などについても意識統一を行う事ができた。引き続き、短い時間でもお互いに意見を言い合える機会として取り入れていきたい。 ・幼児担任に業務が集中しがちであるため、担任だけがクラスの業務を担うのではなく、業務内容を園全体で役割分担していった。しかし幼児担任経験者が少なくクラス運営が難しくなる点もあった。次年度は経験者をバランスよく配置し、基盤を固めていく事を大切にしていきたい。
外部研修の参加と情報共有	【計画】 ・様々な角度から職員の学びの場を提供し、固定化されない保育観の中で保育を改めて考える機会を設ける。 ・社福３園合同研修会での学びを反映させ、あけぼのの理念を再確認しながら自園の良さと特色を強化していく。 ・乳児研修を行うことで育児担当制の保育の質の向上を目指す。 ・キャリアパス研修を計画的に取り入れ、学びを共有する。
	【報告】 ・法人内の系列園の見学や公開保育などの機会を積極的に取り入れ、個人の学びを元に保育・環境共に新たな視点で自園の保育を振り返り検討することが出来た。 ・研修などに参加する中で、改めて自園の保育の在り方について考え、保育の組み立て方や質、保育者の役割などについて話し合いを行った。引き続き、あけぼのの理念の基、自園の特色について職員間の意識を統一しより豊かな保育を目指していきたい。 ・乳児保育についての園内研修を行ったり乳児施設への見学や研修に行ったりし、育児担当制についての意識を高めた。今後は、その学びを継続的に取り組めるような地盤作りをしていきたい。 ・キャリアパス研修を計画的に受講し、各々の処遇リーダーに合わせて職員のスキルアップへと繋がった。
同僚性の確立と人材育成	【計画】 ・互いの考え思いを言葉で伝え会う中で相互理解を深め同僚性を高めていく。 ・職務分担を明確にすることで、個々の責任と自覚を持って職務に当たれるよう共通理解していく。 ・行事などの事前準備と計画を全職員が把握して経験を積める機会を持つ。
	【報告】 ・転勤者・新任共に、コミュニケーションを深めて同僚性を高める事を心掛けたが業務に対する責任感の違い等に指導の難しさを感じる部分もあった。今後は、職員間で価値観を共有し、行事も含めた業務をどのように進めていくかを共通で認識し相互理解を深めたり職員を育成したりするところまで行いたい。 ・各自、職務内容に自覚は持っていたが、内容によりなかなか業務が進まない事もあった。職務に対する責任感をどう指導していくのかが今後の課題となった。 ・行事に向かうための計画など、担任間や特定の職員で止まっていた部分があった。今後は、どのように園全体として行事を作り上げていくのかとい

	う視点を持ち、様々な職員が多くの経験を積んでいく機会を作っていきたい。
保護者対応の確立	【計画】 ・保護者に対して怪我やトラブルの伝達忘れ、説明不足が生じないよう職員間の情報共有を徹底、丁寧な対応を確立する。 ・保護者へ理念の共有、日常生活の保育の取り組みを理解してもらえるよう今後も書面や口頭など機会を定期的に設ける。
	【報告】 ・保護者への対応で不十分な事があり、意見をいただく事があった。その事を職員間で検証を行い、再発防止に向けた改善策を作成。また、職員１人１人が丁寧な対応をより心がけるように、同僚性の中で声をかけあう必要性について研修を 行った。 ・園の理念や日常の保育の様子などの共有は、定期的におたよりやドキュメンテーション、懇談会などの機会を用いて行なっていた。

地域貢献活動：

活動名	活動場所	活動内容
園庭開放	認定こども園 あけぼのドロップス	毎週火曜日に園庭を開放し、地域の子どもとその保護者が安心して遊べる場を提供した
子育て支援イベント『ドロップスデー』	上新田府営住宅内集会所	室内でのあそびの場を提供し、親子で制作や関わり遊びなどを楽しんだり育児相談などを行った。
親子交流イベント『ドロップスカフェ』	上新田府営住宅内一時保育室	乳児を育てている保護者の方同士で交流を持ち、相談し合えるコミュニティを築いていただいた。

苦情解決状況：

項目	件数	主な状況
事故	13	○椅子を左足指に落とし鬱血　○油性ペンで自ら顔に自ら描き目にペンが入り充血　○転んで丸太ですねを打ち裂傷　○走っていて柱にぶつかり頭部裂傷　○顔を他児に引っかかれ裂傷 4 件　○水筒を右足指に落とし鬱血　○木の上から転落　○絵の具が目に入り充血　○転倒して地面で前歯を打ち亜脱臼 2 件
苦情･意見	1	○職員間の伝達が不足しており、保護者に伝達が行えなかった。
検証	○受診をした事例については必ず保護者に連絡報告を行い、事故原因をリスクマネジメントリーダーや看護師を中心に会議で検証し、対応や意識統一を行う。 ○子ども同士のトラブルについては前後の状況などを伝えた上、発達上の姿である事も理解に繋がるように話をしていく。	

その他特記事項・報告事項

・ＡＥＤの耐用年数が過ぎていた為、新しいものを購入した。
・新たなスペースの確保のため、３階部分の増床工事を行った。
・昨年度、園舎裏の園庭拡張工事を行っており、安全対策の為に防犯カメラを設置した。
・従来のくみ取りポンプが上水利用だった為、雨水利用のポンプへ変更工事を行った。

【あけぼのぽんぽここども園】　　**園長**：藤田　勲

所在地　：　〒560-0005　豊中市西緑丘２丁目４番１号
連絡先　：　TEL/06-6857-0003　FAX/06-6857-0066　E-mail/akebono_ponpoko@akebono.ed.jp

園児数：

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	18	6	8	10	12	12	12	11	12	12	12	12	12	131
1歳児	20	20	20	20	20	20	20	19	20	20	20	20	20	239
2歳児	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
3歳児	29	33	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	384
4歳児	29	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	384
5歳児	30	32	32	32	32	32	32	31	31	32	32	32	32	382
合計	150	147	148	150	152	152	152	149	151	152	152	152	152	1,808

職員数：

職種	4/1				3/31			
	正職員	契約職員（常勤換算）	派遣職員（常勤換算）	合計（常勤換算計）	正職員	契約職員（常勤換算）	派遣職員（常勤換算）	合計（常勤換算計）
園長	1			1	1			1
主幹保育教諭	1			1	1			1
保育教諭	23	6 (5.4)		29 (28.4)	22	6 (5.4)		28 (27.4)
保育補助		5 (2.7)	10 (2.4)	15 (5.1)		6 (2.8)	11 (3.4)	16 (6.1)
栄養士/調理員	2	4 (2.9)		6 (4.9)	2	4 (2.9)		6 (4.9)
看護師	1			1	1			1
事務員	1			1	1			1
その他		1 (0.2)	1 (0.3)	2 (0.5)		1 (0.2)	1 (0.3)	2 (0.5)
計	29	16 (11.2)	11 (2.7)	56 (42.9)	28	17 (11.3)	12 (3.7)	57 (43)

職員の勤続年数：

1年未満	4	4年以上5年未満	3	8年以上9年未満	4	12年以上13年未満	2	20年以上	
1年以上2年未満	2	5年以上6年未満	3	9年以上10年未満	2	13年以上14年未満		常勤職員の平均	
2年以上3年未満	3	6年以上7年未満	4	10年以上11年未満		14年以上15年未満	1		
3年以上4年未満		7年以上8年未満	6	11年以上12年未満	2	15年以上20年未満	2	7年	

研修の受講状況：

〇第14回幼児教育実践学会（2名）　〇ちゃいるどネット研修（5名）
〇キャリアアップ研修（14名）

本年度重点的に取り組んだ目標・計画と報告・継続課題：

目標・計画	具体的な取組方法
①連携施設風の森保育園との交流	【計画】 ・子どもの交流はもちろんの事、昨年度から始めた合同園内研修に加えトレード研修等の交流する機会を計画的に実施していく。ぽんぽこは進級してくる子ども達の様子を理解し、風の森は進級後の子ども達の様子を確認する中で、切れ目のない連携や共通理解を深めお互いの保育に還元できるようにしてく。
	【報告】 ・合同園内研修では、幼児の動画を共有しディスカッションを行い保育の考え方の擦り合わせをした。またお互いに子どもと共に園に出向き、過ごしている様子や環境を共有する機会を設ける事で環境や取り組みなど参考にすることができた。共有から学びの場を設ける事が時間の捻出という面で実施できないという課題が残ったのでシステム作りを検討していきたい。
②子育て支援事業の充実	【計画】 ・コロナ禍、職員体制の不安定さによりここ３年間の子育て支援事業が殆ど機能していない状態が続いていた。取り組みの内容を見直していくと共に、地域に向けての発信やアプリ等での情報発信等を積極的に行い、気軽に問い合わせたり、立ち寄れたりできるようにしていく。
	【報告】 ・ぽんぽこ広場(2～3 歳児)で開催しているが参加人数が思うように増加しない。少路地区の子育て支援(ひよこちゃん少路(0～1))の需要は高く多くの人数が集まっていることから、来年度は対象年齢の幅を 1～3 歳児へと拡張する予定。また公式ライン等の SNS を活用し拡大していく。

地域貢献活動：

活動名	活動場所	活動内容
園庭開放	あけぼのぽんぽここども園園庭	基本毎日園庭を開放し、地域の子どもとその保護者が安心して遊べる場の提供をした
子育て支援 『ひよこちゃん少路』	あけぼのぽんぽここども園 ランチルーム	主任児童委員、民生委員が主催する子育て支援の場所提供。0 歳～1 歳児親子世帯に向けた親子遊びの紹介、遊び場の提供、交流の促進、育児相談等を行う
子育て支援 『ぽんぽこ広場』	あけぼのぽんぽここども園 ランチルーム	2 歳～3 歳児親子世帯に向けた親子遊びの紹介、あそび場の提供、交流の促進、育児相談等を行う

苦情解決状況：

項目	件数	主な状況
事故	11	○転倒し右上前歯打撲 3 件　○クッキング中に油が飛び右頬火傷（軽症）　○テラスで転倒し右おでこ裂傷　○走っていて転倒した際右足首捻挫　○園児同士のトラブルで玩具がおでこに当たり裂傷 ○転倒した際に右肘内障　○木の遊具から転落した際に右目横裂傷 ○椅子から飛び降りた際に外壁にぶつけ顎裂傷 ○園児のフラフープが口に当たり上唇裂傷
苦情･意見	2	○スギ薬局駐車場利用について
検証	○園内の危険個所の安全チェックを行うと共に、ヒヤリハットで上がった内容から設備や職員が意識できるように進めていく。 ○スギ薬局駐車場のルールの徹底し、注意喚起を行う。また駐車許可証の条件の見直し利用台数の制限を進めていく。	

その他特記事項・報告事項

･社会福祉法人大阪府共同募金会助成金事業の“共同募金施設整備費助成金制度”を利用し、『冷蔵庫』『冷凍庫』『食器保管庫』の入れ替えを行う。